

氏名	林 裕栄	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	老年看護学、在宅ケア学、地域看護学、家族看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	千葉大学看護学部看護学科卒業(看護学士)、埼玉大学 経済学部経済学研究科経済科学専攻(修士課程)修了(修士(経済学))、日本赤十字看護大学 大学院看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)修了(博士(看護学))				
経歴	1984年～埼玉県保健所勤務(5年間)、1989年～埼玉県立衛生短期大学助手・講師、埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師・准教授を経て、2014年～同大学看護学科教授				
所属学会(役職)	日本看護研究学会(査読委員)、日本看護科学学会、日本在宅ケア学会、日本看護学会、日本地域看護学会、日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本老年看護学会、日本認知症ケア学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事・総務委員長)等				

## 【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	クエスチョン・バンク介護福祉士国家試験問題解説2019	共著	メディック・メディア、623頁	青木宏心・林裕栄他	2018.4
2	看護学生のためのメディックメディア模試2018必修	共著	メディック・メディア、125頁	石村由利子・林裕栄他	2018.4
3	クエスチョン・バンクケアマネジャー 試験問題解説2019	共著	メディック・メディア、571頁	大口達也・林裕栄他	2019.1
(2) 論文					
1	専門職連携を進める精神地域ケア事例検討会の試み	共著	第48回日本看護学会論文集 精神看護, pp43-46	○横山恵子・林裕栄、松本佳子・藤田利治	2018.4
2	要介護認定を受けている血液透析患者の療養生活と本人の想い	共著	日本腎不全看護学会誌、20(2)、p103-111	○吉川京子・林裕栄	2018.7
3	Characteristics of "Children of Concern" and Problems with their Support System	共著	Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology 28(1): 27 - 34 2018	○Miyuki SEKI, Mariko HATTORI, Aki SHIBATA, Aya FUJIKAWA, Hiroe HAYASHI	2018.6
(3) 学会発表					
1	訪問看護ステーションにおける既卒採用者育成の実態	共著	第49回日本看護学会－在宅看護－、佐賀市、p 63	○林裕栄・武田美津代・三塩操・中島悦子・片倉英美子他	2018.7
2	The effect and challenge of visiting nurse training program for already graduates	共著	The 5th China Japan Korea Nursing Conference, September 17, Tokyo, Japan, p145	○ Hiroe Hayashi, Misao Mishio・Etsuko Nakajima・Fumiko Katakura・Mitsuyo Takeda・Miyuki Seki・Mitsuyo Azegami Hideo Sato.	2018.9
3	The help-seeking preferences of mothers with infants –focusing on the relationship between self-efficacy and support-	共著	The 5th China Japan Korea Nursing Conference, September 17, Tokyo, Japan, p112	○Miyuki Seki, Hiroe Hayashi, Sachiko Yoshioka, Ayaka Igusa	2018.9
4	Development and Assessment of scenario learning materials to support improved practical nursing competence	共著	The 5th China Japan Korea Nursing Conference, September 17, Tokyo, Japan, p138	○Miyuki Seki, Hiroe Hayashi, Sachiko Yoshioka, Aya Fujikawa, Aki Shibata, Yumi Terauchi, Setsuko Seta	2018.9

5	地域で暮らす高齢者の看取りを行った人に対するグリーフケアに関する文献レビュー	共著	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第9回学術集会-プログラム・抄録集-, p.17、越谷市	○今野あかね・鈴木智子・林裕栄	2018.1
6	中高年向けの運動教室が医療費に及ぼす影響	共著	第77回日本公衆衛生学会、p331、郡山市	○寺内祐美、林裕栄、関美雪、延原弘章、柴田亜希	2018.1
(4) その他					
1	看護学生のためのメディックメディア模試2018第1回模試問題・解答解説8	共著	(株)メディックメディア	石井由利子・林裕栄他	2018.6
2	看護学生のためのメディックメディア模試2018第2回模試問題・解答解説	共著	(株)メディックメディア	石井由利子・林裕栄他	2018.8
3	看護学生のためのメディックメディア模試2018第3回模試問題・解答解説	共著	(株)メディックメディア	石井由利子・林裕栄他	2018.10月
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	2017年度(後期)「在宅医療研究への助成」		精神科訪問看護を実施する訪問看護ステーションのケアの質向上のための取り組みとネットワーク構築の評価ー研究分担者		2018.2~2019.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	家族看護学	2018.4~2018.6	科目責任者として、独自に冊子を作成。視聴覚教材の利用を行った。		
2	老年看護学Ⅰ	2018.10~2018.11	老年看護分野の制度政策など新しい情報を取り入れるようにした。		
3	認知症看護	2018.10月	科目責任者として、最新情報やゲストスピーカーを招き実践的な内容にした。		
4	老年看護学Ⅲ	2019.1	老年看護学実習Ⅱの体験のリフレクションを通して実習後の学生の学びが深まるように助言した。また、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割等について教授した。		
5	卒業研究	2018.4~2019.2	研究計画書作成、倫理委員会提出、調査の実施、論文作成の一連の基本的な研究プロセスを経験できるように教授した。		
6	大学院博士前期課程;地域ケア支援論	2018.10~2019.2	科目責任者として、在宅療養者をもとに、地域保健福祉制度の変遷、医療提供体制や診療報酬・介護報酬の流れ、今日における地域ケアの動向と課題を教授した。		
7	大学院博士前期課程;老年看護援助論	2018.10月	博士前期課程の大学院生を対象に超高齢社会の情勢に応じた高齢者理解のための援助方法について教授した。		
8	女性と健康	2018.7月、12月	大妻女子大学短期大学部非常勤講師として前・後期各2回講義を行った。「メンタルヘルス」「精神疾患(統合失調症とうつ)」		
(2) 演習					
1	老年看護学Ⅱ	2018.4~2018.7	講義の一部を担うとともに、看護過程のGW、演習を担うことで、後期実習に向けて学生が準備ができるように助言した。		
2	大学院:看護学演習(老年看護)	2018.10-2019.3	博士前期課程の大学院生へのゼミを実施し、研究計画書作成に向けて指導を実施した。		
(3) 実習					
1	老年看護学実習Ⅰ	2018.4~2018.6	科目担当者として、2か所の老人福祉センターにて、2年次の学生が高齢者の対象特性を理解し、コミュニケーションがとれるよう指導した。また、施設および施設利用者と学生との懸け橋になるように努めた。		
2	老年看護学実習Ⅱ	2018.10~2018.12	学生への学びが深まるように、特に施設職員と意見交換を密にして連携して支援した。また、学生にとって有効な学びが得られるように施設間の調整を行った。学習に課題のある学生への支援を行った。		
3	総合実習	2018.4~2018.8	学生の課題の達成に向けて、実習前のゼミの開催や施設との調整を行い事前に学習環境を整えるとともに、実習時においては効果的な学びが得られるように学生指導を行った。		
4	IPW実習	2018.7~2018.10	多学科の学部生6名に対して、IPWの目的・目標、プロセスにそって実習の円滑化を図れるようファシリテーションを実施した。また、ケアプランの作成においては、多職種連携を視野に入れた指導・助言を行った。		

(4)論文指導				
1	大学院(博士前期課程)修士論文	2018.4～2019.3	主指導:1名、副指導:1名	
2	卒業研究	2018.4～2019.3	担当:1名	
3	大学院研究生への指導(留学生:山西医科大学修士1年生)	2018.4～2019.2	担当:1名	
(5)その他				
1	埼玉県立大学老年看護学実習Ⅱ指導者会議の開催	2019.3.	実習指導者と実習の進捗状況、課題等を話し合った。	
2	高校説明会(学内・学外)2回	2018.6	県内の高等学校の教員に対して本学学生支援についての説明を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	新卒者等訪問看護師育成研修	埼玉県訪問看護ステーション協会	キャリアをデザインする、事例検討会(月1回)	2018年4月～2019年3月
2	平成30年度主任介護支援専門員研修	埼玉県介護支援専門員協会	講義及び演習「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」	2018年8月、10月、12月
3	みんなの保健室陽だまり草加 講演会	みんなの保健室陽だまり草加	「フレイルって何か、知っていますか?」	2018.5
4	平成30年度シルバーカレッジ講師	越谷市役所	「フレイルって何か、知っていますか?」	2019.9
5	地域介護予防活動支援事業交流会「ジャンプ教室」	草加市役所	「健康でイキイキと過ごすために」	2019.1
6	看護教員養成講習会 講師	埼玉県看護協会	専門領域別看護論演習(4時間の講義)老年看護領域の成り立ちと枠組み、構造を教授した。	2018.6
7	さいたま市社会福祉協議会 事例検討会	さいたま市社会福祉協議会	事例検討会スーパーバイザー	2019.1月、2月
(2)国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	越谷市役所	開発審査委員	2017年～	
2	もくせい家族会	評議員	2017年～	
3	埼玉県訪問看護ステーション協会	顧問	2016年～	
4	埼玉県訪問看護ステーション協会	新卒者等訪問看護師育成プログラム作成委員会	2015年～	
5	認知症者と家族の会	相談世話人	2003年～	
6	埼玉県保健医療部	埼玉県訪問看護推進検討委員会委員	2018年4月～	
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	東武よみうり原稿掲載	【県大発!耳より健康情報16】「元気の秘訣は人との交流」	2018年9月17日掲載	
5. 学内運営(委員会委員)				
1	学生支援センター長に伴う所掌業務(学生支援委員会、保健委員会、障害学生支援検討会、等)			
2	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会理事(総務委員長)			
3	埼玉県立大学創立20周年記念事業実行委員会(広報部会長)			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	越谷市制60周年記念 功労表彰(都市基盤整備)	越谷市役所	2018年10月	
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	日本看護研究学会への投稿論文の査読			
2	埼玉県訪問看護ステーション協会の理事らとともに県内の既卒採用訪問看護師の育成に継続的にたずさわっている。			
3	草加市内「みんなの保健室陽だまり」メンバーとして、地域包括ケアを担う元気高齢者へのボランティアへの支援を行っている。加えて市内のNPO法人への支援も実施している。			